



しらさぎ

求めて学ぶ 考えて行う 自ら鍛える

目黒区立第八中学校
学校だより NO. 6
(通巻165号)
平成30年(2018)
6月5日(火)

『汗と感動の涙 運動会』

校長 飯野 博史

6月2日(土)晴天の下、運動会を開催しました。たくさんの地域・保護者の方々に応援していただきました。ありがとうございました。

開会式の挨拶の中で私は「全力で競技に参加しよう。係の仕事、応援に責任を果たそう。仲間とのつながりを深めよう。」という話をしました。正面ゴール付近で競技を見ていましたが、誰もが歯を食いしばってゴールを目指す姿に感動しました。用具係、放送係、招集誘導係など、それぞれの係等に責任を果たそうという姿勢も見ることができました。

午後の部、最初の種目「舞い降りたしらさぎのエイサー」には感動し、思わず涙が出ました。一生懸命に太鼓をたたく姿、しなやかに踊る姿、一糸乱れぬ動き、掛け声…見事でした。運動会に「エイサー」を取り入れてから4年目になりますが、年々充実し、八中の伝統の一つになりつつあります。来賓の方々、保護者の方たちからも「素晴らしい。感動しました。」という、うれしい評価をたくさんいただきました。八中が、まさに一つになったことを実感しました。

運動会の成果をこれからの学校生活に生かしていきます。

◎地域・保護者の方からの感想

- ・すばらしい天気の下、真面目で礼儀正しくおとなしい生徒が、今日は変身して全力で、責任感をもって競技と運営に参加している姿に感動しました。最後の対抗リレーに先生方が参加し、一体になったのがよかった。
- ・仲間と一緒に真剣に取り組んでいる様子が見られてよかったです。3年生で中学校最後の運動会、本人もやりきったようないい表情をしていました。私はとくに全校生徒で踊った「舞い降りたしらさぎのエイサー」に感動して、終わったときに胸が熱くなりました。八中のあたたかい雰囲気これからも引き継がれていきますように…。
- ・各学年、各クラスの生徒一人ひとりが力の限り、元気いっぱい正々堂々と戦っていました。勝っても負けてもお互いをたたえ合う姿も見られて、とても気持ちのよい運動会になったと思います。子供たちが楽しみながらも一生懸命に取り組んでいる姿に感動しました。全員で踊ったエイサーも大変に素晴らしかったです。皆が一丸となって踊ったエイサー、本当によかったです。また、先生方もリレーに参加してくださり、とても盛り上がりました。準備から当日まで、本当にありがとうございました。



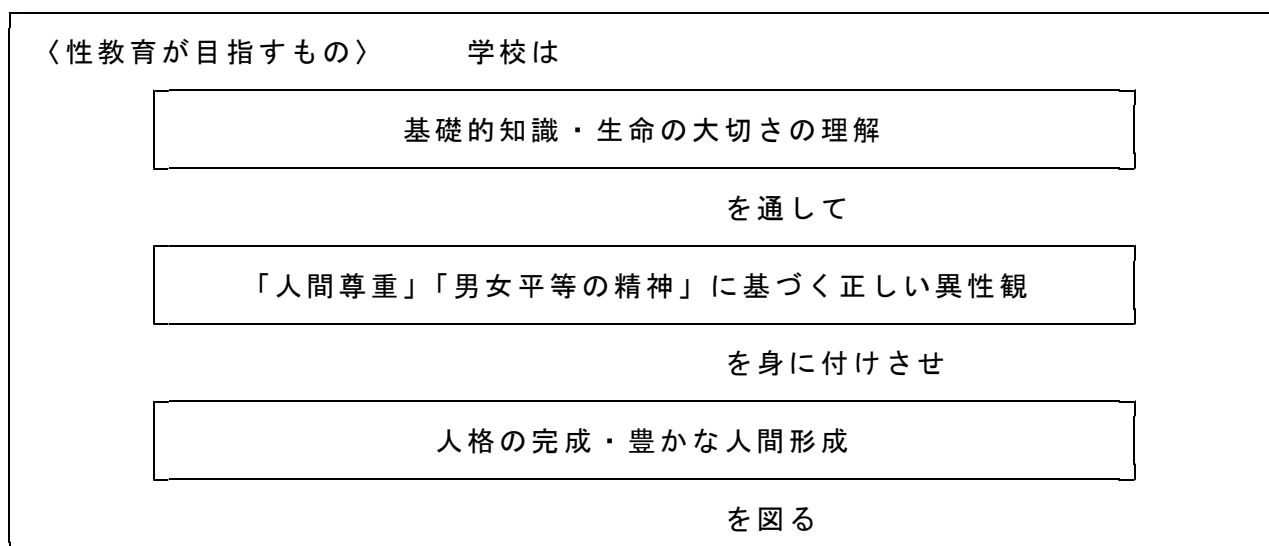
『中学校の性教育とは』

『性教育』と聞いて、真っ先に思い浮かべることはどんなことでしょうか。「恥ずかしい」、「寝た子を起こすようなことはしないでほしい」「自然に友達から教えてもらうこと、自分もそうだった」「家庭では話しづらい。学校で指導してほしい」「エッチ」…などという言葉が聞こえてきそうです。『性教育』と聞くと、どぎまぎしてしまう方が多いのではないのでしょうか。

インターネット、DVD、雑誌など、性に関する情報が様々な方法で手軽に入手できる時代です。正しい情報を知り、考えて行動しないと、性犯罪に巻き込まれる可能性もあります。誤った情報から自分の体について劣等感をもち、自信をなくしている子供がいるかも知れません。

性についての考え方、とらえ方は千差万別、十人十色で扱いづらいのが現状です。しかし、子供たちがこれから健全な生活をし、豊かな社会生活を送っていく上で「性教育」は避けては通れないものです。もっと「性」についてオープンに考えたり、相談したりという環境が必要と考えています。

学校では「性教育」を次のような意義のもと実施していきます。



つまり学校で行う『性教育』は、保健体育の授業で扱う「生殖機能の成熟（男子・女子の生殖機能の発達、受精と妊娠など）」といった部分だけを指すのではなく、それらも含めて「生命尊重」「人格の尊重」「人権の尊重」といった「人間教育」として行われるものです。まとめると次のようになります。

【中学校における性教育の考え方】

- ① 人間尊重の精神を基盤に、男女平等の考え方やよりよい男女の人間関係を築く学習を通して、人間としての生き方、在り方を学ばせる。
- ② 中学生期の心身の発達特性をとらえさせ、性的関心や性的発達に対する適切な対処の仕方を身に付けさせる。
- ③ 性情報の氾濫、活発化する中学生の性意識・性行動など、性に関する社会的環境の影響を的確にとらえ、それらに適切に対応できる能力やスキルを養う。

こうして見てくると、「性教育」は保健体育の授業だけで終わるものではなく、道徳、特別活動（学級活動）、総合的な学習の時間など全ての教育活動とつながっていくことが分かります。今まで八中が取り組んできた「人権教育」とも大いに関わっています。

八中では今年度、「性に関する指導」を研究テーマの一つに掲げています。「性の指導の在り方」について、学校、家庭、地域がいっしょに考えていく機会を設けたいと思います。

※「性教育の手引き（中学校編）」（東京都教育委員会）を参考にしました。